

宮坂ゴム株式会社

長野県茅野市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ゴム・樹脂部品製造事業をアジアにも展開 既存技術応用と新技術開発で新分野開拓へ

自動車のコネクタ用防水シールをはじめとしてゴム部品全般を取扱う製造メーカー。自社設計の金型と1,000種類以上の自社配合材料をコア技術として、顧客からのゴム製品の物性についての様々な要求に応えている。主力である自動車用製品の他に、医療、次世代自動車、航空機等の成長分野に向けた新製品・新素材開発を積極的に進めており、樹脂分野においてはスーパーエンブラ材による各種インサート成形部品の製品化に成功している。

- | | | | |
|---------|---|-------|---------|
| ●所在地 | 長野県茅野市豊平5350 | ●設立 | 1973年 |
| ●電話/FAX | 0266-73-7100/0266-73-7600 | ●資本金 | 4,800万円 |
| ●URL | http://www.miyasaka.co.jp/ | ●従業員数 | 170人 |
| ●代表者 | 代表取締役 宮坂 孝雄 | | |



国内営業と連携した海外事業の展開

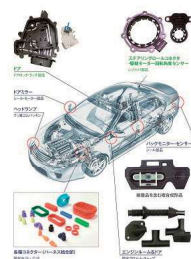
1995年のフィリピンを始めに、中国・タイにも生産拠点現地法人を設け、日本向け製品の製造と、現地または域内向け製品の製造・販売を行っている。後者については、日本国内の取引先から情報を収集しつつ、地産地消の時流に合わせて事業拡大を進めている。海外進出に際しては、各国・地域の現地行政機関等の協力を得て良好な関係を築くとともに、各国拠点で研修生を選抜して日本本社へ派遣して、現地従業員の技能・モチベーションの向上を図るとともに日本の従業員の国際感覚の向上を図っている。



中国現地法人 宮坂富士(中山)有限公司

保有技術の応用や新製品開発による新分野事業への展開

主力である自動車向けゴム・樹脂製品の市場・需給の変化に柔軟に対応できるよう、取扱い可能な製品分野を多角的に広げて企業体質の強化を図っている。例えば、印刷メーカーとの合併により獲得した印刷技術を応用・発展させ、機能品印刷メーカーとして各種銘板や異常過熱しない電気式床暖房システム(PTCヒーター)を製造している。また、新製品・新素材開発も積極的に進めており、そのために専門的な分野の知識・技能を持つ他企業退職者のシニア雇用も積極的に実施している。



自動車への当社製品搭載例

地域特産品としての健康器具「ヘリカール」の製造

新素材カーボンマイクロコイルとシリコーンゴムの研究開発から生まれた同社初の一般向け自社ブランド商品「ヘリカール」。首・肩・腰などの患部を温めて凝りを和らげてくれる一般医療機器である。磁気を使用しないので、ペースメーカー利用者でも安心して使える特長がある。現在、登山者やゴルフ客、温泉宿泊者などにアピールしてブランドの確立と普及を進めるだけでなくとどまらず、地元茅野市のふるさと納税の御礼品としても採用され始めている(2018年12月13日までに6件)。



「ヘリカール」とカーボンマイクロコイル